

痩せたる人を嗤笑ふ歌二首

三八五三番

石麻呂に 我物申す 夏痩せに 良しといふもの
そ 鰻捕り喫せ

三八五四番

瘦す瘦すも 生けらばあらむを はたやはた
鰻を捕ると 川に流るな

高宮王、数種の物を詠む歌二首

三八五五番

芎莢に 延ひおほとれる 屎葛 絶ゆることな
く 宮仕へせむ

三八五六番

波羅門の 作れる小田を 食む烏 瞼腫れて
幡杵に居り